

■就任時ホームページメッセージ(2011. 10)

10月1日付けで一井先生の後任として学長に就任しました。旧香川大学と香川医科大学が統合して、初めての医学部出身学長という事ですが、教育の現場は普遍と思って大学運営に邁進してまいります。私は退官後一時期、外から香川大学を見る機会がありましたが、この間、地域の方々からは香川大学はもっと元気を出して、大学改革の方向が見えない、大学内の風通しが良くない、閉塞感がある、地域貢献が不足しているなど厳しいご意見をいただきました。これらのご指摘は大変貴重なもので、若し私が学内に留まっていたなら自覚もせず自己満足していたでしょう。確かに香川大学は4つのキャンパスに分かれ、地理的ハンディキャップはありますが、学部間の垣根が高く大学全体の一体感は希薄な感を受けます。私の仕事の一つは、この垣根を学部連携の研究や全学部共通の教養教育のリメイクを通して低くする事です。そして全学部の一体感の醸成に努め、多くの優秀な人材を集約して目に見える成果を地域の方々に情報発信し続けます。現状では情報発信の対象が、高松地域に重きを置かれているように感じます。しかし香川県唯一の国立大学を県民の方々に広く知っていただくには、県域をカバーする大学サテライトを設置し、定期的に大学の教育・研究の成果や連携事業の情報を差し上げ、また地域の方々から大学に対する要望をいただきたいと考えています。その結果、県民の方々に信頼され愛着を持っていただける大学に進化させたいと思っています。

学内的には教職員や学生との風通しを良くして、構成員の意見を入れながら大学の進むべき方向を明示し、明るく活気のある大学を目指してゆきます。

香川大学長

長尾有吾